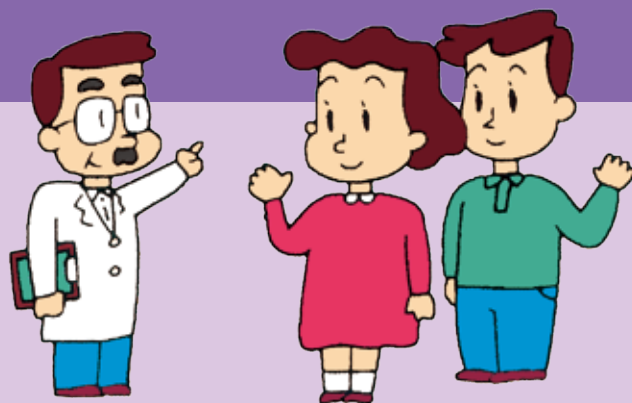


# もっとよく知ろう 性感染症のはなし



～あなたに知ってほしいことがあります～



## はじめに

セックスで感染する病気は、性生活のある方なら誰でもかかる可能性があります、「特別な病気」と思っていないませんか。

「自分は大丈夫」と過信していると、気づかないうちに感染を広げたり、症状が悪化したりすることがあります。

このパンフレットは、性感染症（Sexually Transmitted Infections：STI）にかかっているかもしれない方や性感染症についてもっと知りたい方へ、情報提供することを目的に作成しました。

予防のためにも、感染した場合の適切な治療のためにも、正しい知識を身につけましょう。

はじめに

## 性感染症(STI)はどんな病気なの？

- P1 性感染症の現状
- P2 感染に気づいたときどうすればいいの？
- P2 母子感染に注意

## 話題の性感染症とは

- P3 HIV感染症／エイズ
- P3 クラミジア感染症
- P3 梅毒
- P3 B型肝炎

## 正しく理解し性感染症の予防を

- P4 性感染症を予防するために
- P5 セーフターセックスのために (コンドームを正しく使いましょう)

## 主な性感染症

- P6 梅毒
- P7 クラミジア感染症
- P8 淋菌感染症
- P8 性器ヘルペス
- P9 尖圭コンジローマ
- P9 アメーバ赤痢
- P10 膣トリコモナス症
- P10 A型肝炎
- P11 B型肝炎
- P11 C型肝炎
- P12 性器カンジダ症
- P12 ケジラミ症

## HIV感染症／エイズについて

- P13 感染経路・経過等
- P16 もし、あなたがHIVに感染していたら
- P16 共に生きる社会を目指して
- P17 大阪府内の相談・検査実施保健所等一覧
- P18 電話相談窓口、夜間・休日HIV検査のご案内

# 性感染症 (STI) はどんな病気なの？

## 性感染症の現状

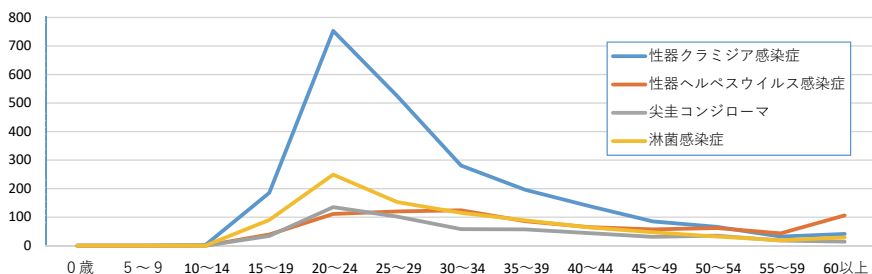
性感染症は、セックスによって感染する病気の総称です。

性感染症には、HIV感染症／エイズ・梅毒・クラミジア感染症・性器ヘルペスウイルス感染症・尖圭コンジローマ・淋菌感染症などがあります。

性感染症は、症状が出にくいことや症状が軽いことがあります。そのため、気づかないままセックスを続け、感染を広げてしまう場合があります。

また、口腔性交（オーラルセックス）や肛門性交（アナルセックス）などのセックスによって、性器以外の皮膚・肛門・唇・咽頭などにも症状が現れることがあります。いずれの性感染症も、放置すれば進行し、不妊の原因になることがあります。

大阪府 疾病・年齢階層別患者報告数（2022年）



出典：大阪府感染症情報センター  
II 五類定点把握感染症（性感染症）

疾患別では、性器クラミジア感染症の報告数が最も多く、全体の半数以上を占めています。年齢別では、いずれの性感染症も、10代後半から30代が約6割以上を占めています。中でも、性器クラミジアは8割以上と、若年層が多い状況です。

## 感染に気づいたとき、 どうすればいいの？

自覚症状があれば、一人で悩まないで医師の診察を受けましょう。

性感染症は、セックスをすることによってピンポン感染(うつしたりうつされたりすること)するため、治療は必ずパートナーと一緒に受けましょう。

自分勝手に診断することは、とても危険です。早めに治療すれば、治療効果は大きく、後遺症が残る可能性は低くなります。また、症状がなくなっても、勝手に治療を中断すると慢性化する可能性があります。完全に治るまで根気よく治療を続けましょう。

## 母子感染に注意

女性が性感染症に感染したまま妊娠や出産をすると、流産や死産の原因になり、また、子どもに同じ病気を感染させる「母子感染」の可能性が高くなります。

HIV感染症／エイズ・梅毒・クラミジア感染症・淋菌感染症・B型肝炎などは、母子感染により赤ちゃんに影響を及ぼすことが多いです。しかし、適切な医学的対応によって予防・治療することができるため、医師によく相談することが大切です。

## 「愛しているから」「恋人だから」というだけでは、 感染は予防できません。

どんなに愛している相手とのセックスでも、一度だけでのセックスでも、妊娠したり、性感染症に感染したりする可能性があります。セックスする前に、そのような可能性があっても自分は本当にセックスがしたいのか、考えることが大切です。したくないときは、「NO」と言える勇気が必要です。もし、セックスする場合は、十分に予防策をとることが大切です。

# 話題の性感染症とは？

## HIV感染症／エイズ

HIV感染症／エイズは、長い潜伏期間ののちに発症する病気です。症状が現れない期間でも、他人に感染させることがあります。治療の進歩により、早期に適切な治療を開始して継続すれば、エイズを発症することはなくなりました。そのため、感染の可能性があれば、検査を受けて早期発見することが重要です。

他の性感染症に感染している人は、HIV（エイズを発症させるウイルス）に感染する確率が、健康な人に比べて数倍も高くなります。(13～14ページ参照)

## クラミジア感染症

クラミジア感染症は、特に20代に多発しています。無症状または症状が軽く、気づかないことも多いのが特徴です。そのため、知らないうちに他人に感染させてしまうことがあります。

## 梅毒

梅毒の年間報告数は、若年層を中心に多発しています。梅毒は「典型的な症状」を示さないことも多く、感染していても無症状のこともあります。そのため、症状の有無や症状の程度で判断せずに、適切な時期に血液検査を受けることが重要です。

## B型肝炎

B型肝炎ウイルスは、皮膚・粘膜などの小さな傷からも感染することから、セックスでも感染します。

そのため、より粘膜などを傷つけやすい肛門性交や生理中のセックスは、感染の危険性が高くなります。

# 正しく理解し性感染症の予防を

## 性感染症の予防について

A型肝炎・B型肝炎・尖圭コンジローマ以外は、まだ予防ワクチンがありません。

性感染症を予防するには、感染の原因や感染経路を正しく理解し、予防策を実践していくことが大切です。コンドームは予防に有効ですが、性感染症は、性器以外の口腔・咽頭（例：口腔性交＝オーラルセックス）からも感染することがあるため、注意しましょう。

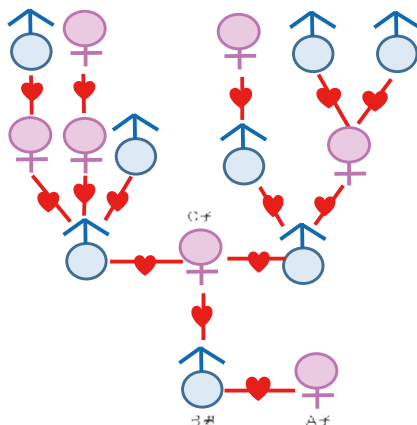
また、ピルの服用は、避妊に有効ですが、性感染症の予防にはなりません。セックスをするなら、セーフターセックス（より安全なセックス）を心がけましょう。

性感染症は、予防することができる病気です。あなたの大切な家族やパートナーを病気から守りましょう。

### 本当に、あなたは、パートナーは… 「大丈夫」と言えますか？

あなたとは直接面識のない人の病原体が、めぐりめぐって、あなたのセックスする相手にまで感染している可能性があります。

例えば、セックスをしたことがある相手は、A子にとってはB男のみで、B男にとっては、A子以外はC子のみとします。しかし、C子につながる全ての人の中で一人でも性感染症に感染していた場合、B男、さらにA子に感染が広がる可能性があります。



## セーフアークセックスのために (コンドームを正しく使いましょう)

精液・膣分泌液や血液に、性器等の粘膜が直接ふれないように工夫することで、感染の可能性を大幅に下げることができます。

コンドームは、セックス（口腔性交・肛門性交を含む）の最初から最後まで、きちんと使うことが大切です。

- 伸びた爪は、コンドームを傷つけやすいので、きちんと切りましょう。
- 潤滑剤は、水性のものを使いましょう（バターや油性のものは、コンドームの品質を下げるので使わない）。

- コンドームの先の精液だまりに空気が入ると破れやすいので、指で空気を抜いてから着けます。
- 仮性包茎の場合は、コンドームの装着後にペニスの根元の皮膚を亀頭方向にたぐり寄せ、最後までしっかりとコンドームをかぶせると、はずれにくくなります。
- コンドームの2枚重ねは、破れやすくなるのでやめましょう。
- コンドームは、射精後すぐに、精液をこぼさないようにはずしましょう。

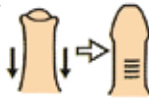
### コンドームの正しい使い方

1.



コンドームを端に寄せ、パッケージの一面を完全に切り離し、コンドームを破らないように取り出す

2.



ペニスが勃起したら、皮(包皮)を根元まで下ろし、亀頭をしっかりと出す

3.



表裏を確認する

4.



先端をつまんで空気を抜く（忘れると破ける原因になる）

5.



精液だめをつまんだままコンドームを下ろす

6.



一度下ろしたコンドームを皮(包皮)ごと引っぱり上げる

7.



余った皮(包皮)が伸びたところで、コンドームを根元まで下ろす

8.



射精したら、すぐにはずす

9.



使用後は口を結ぶ（再使用はしない）



# 主な性感染症

## 梅毒

若年層を中心に多発しています。

- 原因 梅毒トレポネーマ
- 潜伏期間 3週間程度
- 症状
  - 第Ⅰ期（感染後3～6週間の潜伏期間後）  
感染した部位（口の中や性器）にしこりや潰瘍ができ、リンパ節が腫れます。
  - 第Ⅱ期（感染後およそ3か月経過後）  
手のひら・足の裏・体全体に赤い発しん（バラ疹）等がみられます。  
※無症状の場合が多く、第Ⅰ・Ⅱ期の症状は、一定期間で消失します。そのため、長年にわたり感染していることに気づかず、進行していく場合があります。早期に治療すれば治りますが、完治しても再感染することがあります。
  - 第Ⅲ期（感染後およそ3年以上経過後）  
皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍（ゴム種）ができます。また、脳神経や内臓に重大な障がい認められることもあります。
- 治療 抗生物質が有効です。感染からの経過が長いと、長期の治療が必要となります。  
梅毒に感染していることがわかった場合は、パートナーも検査を受け、必要に応じて一緒に治療を行うことが重要です。
- 予防 コンドームは感染予防の効果はありますが、コンドームに覆われていない部分に梅毒の症状があると、その部分に接触した皮膚や粘膜から感染する可能性があります。しこりやただれなどの症状がある場合は、性的な接触を控え、早期に医療機関を受診して相談してください。
- 注意 妊娠中の女性が感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産・早産・新生児死亡など、さまざまな症状や障がいを起こすこと（先天梅毒）があるため、特に注意が必要です。  
なお、梅毒に感染していると、HIV感染症（エイズ）などの他の性感染症に感染しやすくなります。

# クラミジア感染症

感染が広がっているSTIの一つです

- **原因** クラミジア・トラコチマス
- **潜伏期間** 1～3週間程度
- **症状**

特徴が少ないため、感染の自覚がないことが多いです。  
口腔性交(オーラスセックス)による口からの感染が増加しています。

**男性** — 排尿時の痛みやかゆみ、尿道口からの膿などの分泌物による不快感がありますが、軽い場合が多いです。  
精巣上体炎(副睾丸炎)を起こすと、男性不妊の原因になります。

**女性** — 下腹部の鈍痛やおりものが増える程度のため、感染に気づかないことが多く、医療機関を受診してはじめてわかることが多いです。  
放っておくと、子宮頸管炎・卵管炎・不妊症・慢性の扁桃腺炎になる場合もあります。
- **治療** 抗生物質の服用
- **注意** 治療を中断すると再発・慢性化しやすいので、医師の指示を守って根気よく治療を続けることが大切です。

## 淋菌感染症

- 原因 淋菌
- 潜伏期間 2～10日程度
- 症状 最近は症状の軽いタイプも広がっています。  
男性 — 尿道炎になると、排尿痛が起こったり、尿道口から膿が出たりします。  
女性 — 自覚症状がなく、気づかないことも多いです。おりものが増え、外陰部がかゆくなる程度です。尿道まで感染が広がると膀胱炎を起こし、排尿時に痛みが生じます。淋菌が膣や子宮に入ると頸管炎を起こし、おりものが増えます。
- 治療 抗生物質の点滴・注射(内服の抗生物質は効きにくくなっています)
- 注意 放置すると、男女とも不妊症になることがあります。

## 性器ヘルペス

- 原因 単純ヘルペスウイルス
- 潜伏期間 2～10日程度
- 症状 男女とも、外性器に1～3ミリの水疱や潰瘍が多発し、破れると強い痛みが起こって、2週間くらい続きます。排尿時にも痛みがあります。女性の場合、外陰部の強い痛みで歩行や排尿が困難になることがあります。
- 治療 抗ウイルス薬の服用(重症例では、注射による治療を行います)

## 尖圭コンジローマ

- 原因 ヒトパピローマウイルス
- 潜伏期間 3か月程度
- 症状 男女とも、性器や肛門周辺にイボ状の発疹ができます。大きくなったり、数が増えたりします。
- 治療 軟膏の塗布による薬物療法や外科的治療(凍結、レーザー、電気メスによる切除)
- 予防 予防効果が期待できるヒトパピローマウイルス4価ワクチンと9価ワクチンがあります。

## アメーバ赤痢

- 原因 赤痢アメーバ
- 潜伏期間 数か月～数年程度
- 症状 下痢・粘血便で発症します。病原体が、便に排泄されて口→消化管→肝臓のルートで感染し、肝膿瘍をつくることで、発熱することがあります。
- 治療 抗原虫薬の内服(重症例では、注射による治療を行います)

## 膾トリコモナス症

- **原因** 膾トリコモナス
- **潜伏期間** 7～14日程度
- **症状** **男性**— 無症状の場合が多いが、たまに、尿道の異物感を起こすことがあります。  
**女性**— 症状が軽いため気づかないことがあります。
- **治療** 男女とも抗原虫薬の内服が基本（妊娠初期の女性は膾剤のみとします）。  
パートナーにトリコモナスが見つかった場合、必ず検査を受け、必要に応じて一緒に治療を受けましょう。
- **注意** 女性では、セックス以外の感染経路（下着・タオル等）による感染もあります。

## A型肝炎

- **原因** A型肝炎ウイルス
- **潜伏期間** 1か月程度
- **症状** 病原体が、便に排泄されて口→消化管→肝臓のルートで感染し、発病します。肝潰瘍により、発熱・全身倦怠感・食欲不振・黄疸が起こることがあります。多くは自然回復しますが、重症化することもあります。
- **治療** 治療薬はなし（対症療法のみで、症状によっては入院治療が必要です）
- **予防** 感染予防のためのワクチンは、非常に有効です。

## B型肝炎

- 原因 B型肝炎ウイルス
- 潜伏期間 1～6か月程度
- 症状 発熱・全身倦怠感・食欲不振・黄疸などがみられます。  
ほとんどの人は回復しますが、重症化・慢性化することもあります。
- 治療 抗ウイルス薬が必要な場合もあるため、医師の指示に従ってください。入院したほうが良い場合もあります。
- 予防 性的接触によるB型肝炎の感染は、ワクチンが有効です。

## C型肝炎

- 原因 C型肝炎ウイルス
- 潜伏期間 2週間～3か月程度
- 症状 自覚症状は、「体がだるい」「食欲がない」など乏しいことが多く、黄疸も出にくいいため、感染しても気づかない人が多いです。3～4割は自然に治りますが、6～7割は「慢性肝炎」となります。放置すると、肝硬変さらには肝がんへと進行していく危険性が高まります。
- 治療 経過を観察しながら慢性化する気配があれば、抗ウイルス薬などによる治療を行います。

## 性器カンジダ症

- 原因 カンジダ(カビの一種)
- 症状 男性— 症状が出るのが少ないですが、糖尿病等がある場合は、亀頭炎を起こすことがあります。  
女性— 外陰部や膣にかゆみが起こり、ヨーグルト状あるいは酒粕状の白いおりものが出ます。
- 治療 抗真菌剤(膣剤や外用薬等)

## ケジラミ症

- 原因 陰毛に寄生したケジラミ
- 潜伏期間 1か月～2か月程度
- 症状 主な症状は、陰毛部のかゆみです。
- 治療 シラミ駆除専用パウダーやシャンプーによる治療

# HIV感染症／エイズについて

## 感染経路・経過等

### 〔原因〕

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）

### 〔潜伏期〕

HIVに感染してから発症するまでの期間は、個人差がありますが、治療を受けないで自然に経過した場合は、数か月～10年程度です。

近年、発症までの期間が早くなる傾向がみられます。

### 〔感染経路〕

#### セックス、血液、母子感染

**セックス**→HIVは、感染者の血液・精液・膣分泌液に多く含まれ、それらが性器・肛門・口の粘膜や傷口から相手の体内に入ることにより感染します。出血しやすい肛門性交や生理中のセックスは、特に危険です。

**血液**→輸血や静脈注射の回し打ちによる感染です。国内の輸血用血液は、すべて検査が行われています。

●輸血による感染は、現在の技術では極めてまれですが、感染の可能性を完全に排除できません。

**母子感染**→母親がHIV陽性者であれば、胎盤を通じての子宮内感染、出産時の産道感染、母乳による感染の可能性がります。

●適切な対策をとれば、赤ちゃんへの感染率は1%以下といわれています。

### こんなことでは感染しません

- ・握手などで体に触れる
  - ・空気、水
  - ・せき、くしゃみ
  - ・食事、回し飲み
  - ・吊り革、手すり
  - ・共同浴場、トイレ
  - ・理美容
- など

### 〔症状と経過〕

#### HIV感染≠エイズ…ではありません

HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではありません。

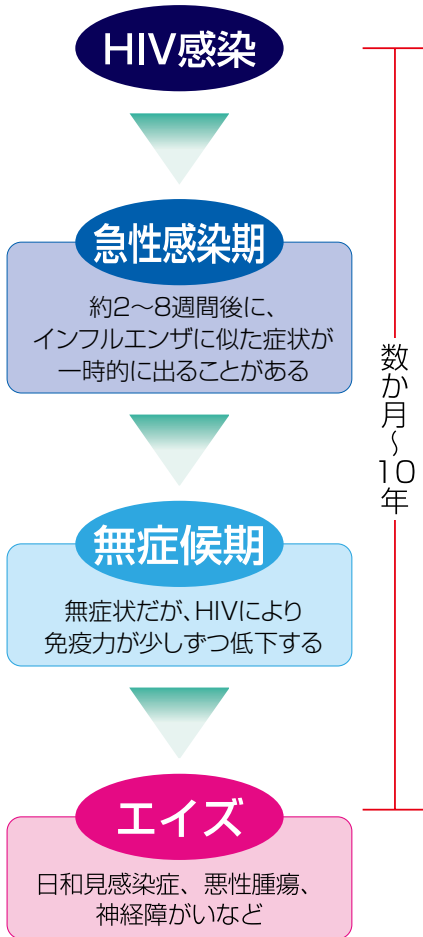
無治療の場合は、次第に免疫力が弱まります。免疫が正常に機能している場合には問題にならない細菌や原虫などの病原体によって、感染症（日和見感染症）にかかります。そのほか、悪性腫瘍・神経障がいなどが生じる状態となります。

この状態をエイズ発症と言います。



## ■3つのステージ

早期に感染を知って治療を受け、  
エイズの発症を防ぐことが大切です。



## 〔治療〕

### エイズの治療は進歩しています

現在では、抗HIV剤の治療などを受けることにより、エイズの発症を予防する、あるいは発症を遅らせることが可能になっています。

こうした治療は、免疫力が低下する前から行うことで、より高い効果が得られます。

また、エイズは、発症しても日和見感染症などの治療が進んでおり、必ずしも死に至る病気ではなくなりました。(現在の医学では、HIVを体内から完全に除去することはできないため、薬を飲み続けるなどの治療は必要です)

U=Uって何？

**U=U (Undetectable=Untransmittable)**

血中ウイルス量が「検出限界未満(Undetectable)」の状態を6ヶ月以上維持しているHIV陽性者は、セックスをしても他人に感染させない(Untransmittable)ということ伝えるメッセージです。

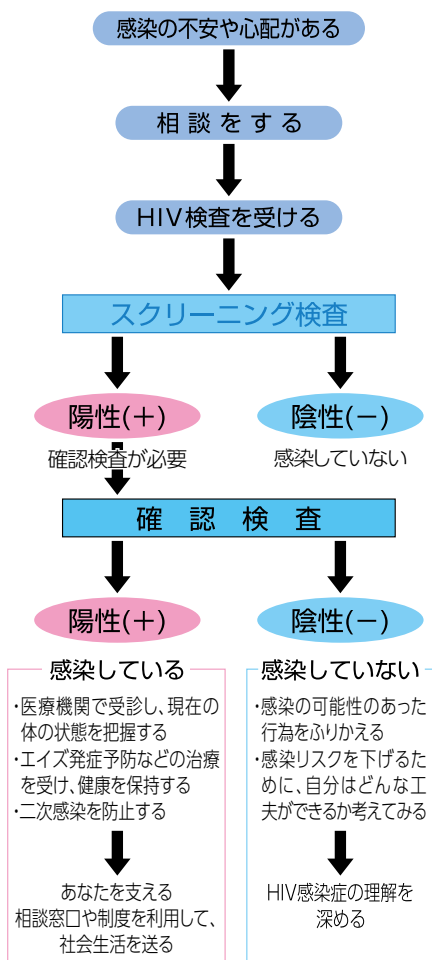


## 〔相談・検査〕

### 相談から検査の流れ

※1 保健所・保健センターの相談・検査は、匿名で受けることができ、プライバシーも守られます。費用は無料です。実施日時は、直接、保健所等へお問い合わせください。

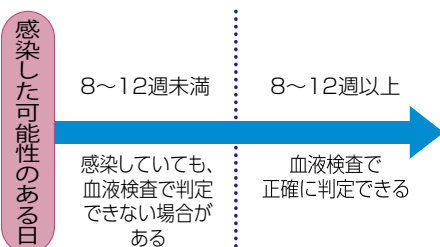
- ※2  
※1 17ページの一覧表をご参照ください。  
※2 実名を名のる必要はありません。



### 検査を受ける時期

HIVに感染した場合、多くは6～8週間程度で血液検査により判定できるようになります。

この期間(ウインドウ期)には個人差があります。そのため、最後に感染した可能性のある日から8～12週間未満(検査方法によって異なる)に検査を受けた場合は、再度、検査を受け、結果を確認することをおすすめします。



#### ※検査目的の献血は絶対にやめましょう。

献血された血液は、輸血による感染を防ぐため、さまざまな検査が行われていますが、現在の技術水準でも感染の可能性を完全に排除することができません。安全な血液供給により、輸血による感染を起こさないようにするために、検査目的の献血は絶対にしないでください。

### 感染を早く知ることが大切な理由

HIVの感染を早く知ることにより、早期に専門の医師にかかり、エイズ発症予防などの治療を受けることができます。(HIV感染の有無は、検査を受けない限りわかりません)

## もし、あなたがHIVに感染していたら

- **通院しやすく信頼できる医療機関を見つけましょう。**

エイズ治療の拠点病院が整っており、安心して治療を受けることができます。

※詳しくは、各保健所等へお問い合わせください。
- **受診して健康状態を確かめ、必要な治療を受けましょう。**

まず、身体の免疫の状態やHIVの量、合併症などの検査を受けます。その結果に基づいて、HIVの増殖を抑える抗HIV剤の処方や合併症予防などの治療を受けていくことになります。
- **病状や治療のこと、不安なことは、主治医やカウンセラーなどによく相談しましょう。**

病気をよく理解して、薬を使用する、栄養に気をつける、ストレスをためないなどにより、健康保持に努めることが大切です。

あなたが病気と上手に付き合っていくるように、医師やさまざまな医療スタッフがお手伝いします。

※大阪府と大阪市では、専門のカウンセラーを医療機関に派遣しています。カウンセリングを希望される方は、主治医に申し出てください。

## 共に生きる社会を目指して

- どのような病気に対しても、正しい知識を持ち、むやみに恐れないことです。
- 自分が感染したら、どうしてほしいか、どんな社会を望むか…  
そう考えてみるのが大切です。
- 感染しているという事実はプライバシーです。
- 職場や学校など、あなたの身近に感染者がいるかもしれません。  
職場や学校、地域において、一人ひとりが人権意識を高め、プライバシーを厳重に守り、お互いの存在を認め合うことが大切です。
- エイズも、特別な病気ではありません。感染の有無に関わらず誰もが安心して暮らせるように、一人ひとりが、日頃から正しい知識を身につけて行動することが大切です。

## 大阪府相談・検査実施保健所等一覧

電話や面接による相談を希望される場合は、保健師を呼び出してください。  
HIV等検査の曜日・時間は、事前にご確認ください。検査は、無料・匿名です。

### ■大阪府

令和6年4月現在

保健所名	電話番号		
池田	072-751-2990	富田林	0721-23-2683
茨木	072-624-4668	和泉	0725-41-1342
守口	06-6993-3133	岸和田	072-422-6077
四條畷	072-878-1090	泉佐野	072-462-7703
藤井寺	072-955-4181		

### ■大阪市 ※の保健福祉センターで検査を行っています。

保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号
※ 北区	06-6313-9968	東淀川区	06-4809-9968
都島区	06-6882-9968	東成区	06-6977-9968
福島区	06-6464-9968	生野区	06-6715-9968
此花区	06-6466-9968	旭区	06-6957-9968
※ 中央区	06-6267-9968	城東区	06-6930-9968
西区	06-6532-9968	鶴見区	06-6915-9968
港区	06-6576-9968	阿倍野区	06-6622-9968
大正区	06-4394-9968	住之江区	06-6682-9968
天王寺区	06-6774-9968	住吉区	06-6694-9968
浪速区	06-6647-9968	東住吉区	06-4399-9968
西淀川区	06-6478-9968	平野区	06-4302-9968
※ 淀川区	06-6308-9968	西成区	06-6659-9968

### ■堺市 保健所感染症対策課 電話072-222-9933

保健センター	電話番号	保健センター	電話番号
堺	072-238-0123	南	072-293-1222
中	072-270-8100	北	072-258-6600
東	072-287-8120	美原	072-362-8681
西	072-271-2012		

### ■東大阪市 東大阪市保健所 感染症対策課 電話072-960-3805

保健センター	電話番号	保健センター	電話番号
東	072-982-2603	西	06-6788-0085
中	072-965-6411		

### ■高槻市

保健所	072-661-9332
-----	--------------

### ■豊中市

保健所	06-6152-7316
-----	--------------

### ■枚方市

保健所	072-807-7625
-----	--------------

### ■八尾市

保健所	072-994-6644
-----	--------------

### ■寝屋川市

保健所	072-829-7773
-----	--------------

### ■吹田市

保健所	06-6339-2227
-----	--------------

## NPO等の電話相談窓口のご案内

- NPO法人 <sup>チャーム</sup>CHARM（性の健康に関する多言語電話相談）  
☎ **06-6354-5901**（午後4時～8時まで、年末年始を除く）  
火曜日……英語・スペイン語・ポルトガル語  
水曜日……中国語  
木曜日……英語
- 一般社団法人JHC  
☎ **06-4708-3137**（第1～4 金曜日 午後6時～8時）
- 公益財団法人 エイズ予防財団（月～金曜日 午前10時～午後1時、午後2時～5時）  
※年末年始および祝日を除く  
フリーダイヤル／☎ **0120-177-812**  
携帯電話からは／☎ **03-5259-1815**

## 夜間・休日HIV検査（エイズ検査）のご案内（無料・匿名）

### ■chotCAST

ところ：大阪市中央区東心斎橋1-7-30（21心斎橋ビル4階）

- 地下鉄堺筋線・長堀鶴見緑地線「長堀橋駅」7号出口徒歩1分
- 地下悦御堂筋線「心斎橋駅」6号出口徒歩4分

電 話：火・木・土・日曜日 **06-4708-5035**（検査実施時間帯のみ）



chotCAST  
検査案内サイト







## レッドリボン普及運動

レッドリボンは、「エイズを正しく理解し、偏見や差別を持っていない」という自己メッセージを表現するもので、世界的な広がりをみせています。

大阪府では、エイズ啓発運動の一環として、広くレッドリボンの普及運動を推進し、HIV陽性者を取り巻く偏見・差別の解消に積極的に取り組んでいます。

## おおさかエイズ情報 Now HIV検査相談マップ

(若者のための情報サイト)



パソコン・携帯

<https://www.osaka-aids-now.info/>



パソコン・携帯

<https://www.hivkensa.com/>

## 大阪府エイズ・HIV情報ホームページ

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kansenshokikaku/chikikansen-aids/index.html>



大阪府健康医療部保健医療室

令和6年5月作成